

論文要旨

学位論文題目：「中国における少数民族の幼稚園選択要因——内モンゴル自治区出身のモンゴル民族を中心に——」

氏名：烏日吉木斯（ウリジムス）

中国においては、少数民族言語の平等な使用と発展が法的に保障されている。しかし、少数民族語にかわって漢語の使用率が上昇し、特に都市部の少数民族では、民族語の喪失、中国語の母語化が著しくなっている。少数民族の民族語の保持・継承が課題になっている。子どもたちは幼児期から漢語と英語能力を身につけていくことが重視される一方、民族語の使用が狭くなり、民族語能力も低くなる傾向がある。子どもたちにとっては幼稚園選択が最初の学校選択であり、それ以降の学校選択に大きな影響を及ぼすため、幼稚園選択は非常に重要である。そこで、本研究では、少数民族の幼児の幼稚園選択要因を探ることを課題とした。幼稚園の選択がどのような要因によって規定されているのか、本論文は、内モンゴル自治区出身のモンゴル民族（内モンゴル自治区に在住するモンゴル民族と内モンゴル自治区を離れて北京に在住するモンゴル民族）の幼稚園選択に焦点を当て、その規定要因を検討することを目的とした。

これに基づき、本研究では以下の5つの課題を検討した。

課題1：少数民族教育はどのように行われてきたのか、その経緯から見えてくる少数民族教育に影響を与える要因は何か。

課題2：少数民族幼児の幼稚園就園をめぐる問題は何か、それらは少数民族の幼稚園選択にどのような影響を与えているのか。

課題3：少数民族幼稚園と漢民族幼稚園という2つのタイプの幼稚園はどのような点で違いがあるのか、また、少数民族幼稚園選択に影響を与えているのがどのような要因なのか。

課題4：少数民族の幼児に対する親の教育期待は幼稚園選択にどのような影響を与えているのか。

課題5：少数民族自らの幼児教育実践はどのように行われているのか、またそれは幼稚園選択に影響を与えているか。

本論文の研究方法は、文献資料の検討、アンケート調査、聞き取り調査、参与観察からなる。これらのためのフィールドワークは、計3回に渡って行った。研究の対象者は、中国における内モンゴル自治区出身のモンゴル民族幼児の保護者と保育者である。

分析の結果、中国少数民族の幼稚園選択要因をマクロ要因とミクロ要因の視点から明らかにした。マクロ要因として①人口的要因、②経済的要因、③政治的要因、④イデオロギーにかかわる要因、⑤言語の地位（国際語、国語、民族語）の要因、⑥アイデンティティにかかわる要因が明らかになった。ミクロ要因として、①幼児教育の量と質にかかわる要因、②教授言語にかかわる要因、③家庭背景にかかわ

る要因、④親の期待にかかわる要因、⑤自民族による民族教育実践にかかわる要因が明らかになった。

これらの結果を、先行研究と照らし合わせて検討すると以下のようにまとめられる。

まず、先行研究と一致した知見を見てみると、本研究で明らかになった6点のマクロ要因は先行研究と一致している。ただし、人口的要因、経済的要因、イデオロギーにかかわる要因、言語地位の要因、アイデンティティにかかわる要因などの諸要因については、政治的統制という文脈の中で理解される必要がある。ミクロ要因の中で、幼児教育の量と質にかかわる要因は、不利な立場に置かれている子どもたちが阻害されているという、世界の多くの地域に生じている問題に関する先行研究と一致している。また、教授言語にかかわる要因、親の期待にかかわる要因は、言語的少数派が民族アイデンティティを越えてより高い社会的地位や権力が得られる多数派にシフトしていくことを明らかにした先行研究と一致している。

次に、先行研究と一致していない二つの知見が得られた。一つは、家庭背景要因のうち、親の学歴が高いほど、モンゴル民族幼稚園を選択する割合が高いという知見である。これは、他の地域の少数民族調査で得られた結論と同じではない。ただし、先行研究では、都市部におけるモンゴル民族高学歴者の民族意識が強いことが示されており、それに鑑みれば、父親の学歴が高いほど、子どもへの民族教育を期待していると解釈できる。もう一つは、民族自治区を離れて大都市に移住する内モンゴル出身のモンゴル民族の幼児教育実践を明らかにしたことである。中国において、幼稚園、家庭、民族コミュニティの協力による自らの幼児教育実践はまだ十分に進んでいないため、それに関する研究もなされていない。よって、本研究で得られた知見は新しい知見と言えよう。

本研究ではモンゴル民族の幼稚園選択要因をマクロとミクロの視点から全面的に明らかにした。これにより、言語的少数派の学校選択研究の分野に新たな知見が提供できたと思われる。また、少数民族の幼稚園教育及びその後の教育に内包される言語、文化にかかわる課題を解決するための、政府、民族学校、民族コミュニティ、家庭などの実践的取り組みに対して基礎資料を提供した。